

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成22年度取組実績」

19 東京都公立幼稚園PTA連絡協議会

22年度の具体的取組	実績
1. あらゆる分野への参画の促進	
(2) 社会・地域活動への参画促進	
<p>父親のPTA参加の促進 保護者（PTA）として、母親・父親の枠を取り扱う。</p> <p>(1) 「子育て研修会」を開催し、各家庭での子育てを見つめ直す機会とする。また、父親と遊ぶ楽しさが体感できる場を設ける。 (2) 「東京都幼稚園PTAリーダー研修会」を開催し、子どもをとりまく生活環境と幼児期にふさわしい生活について考える機会を作る。</p>	<p>(1) 平成22年10月24日（日）、品川区立台場小学校・台場幼稚園にて「子育て研修会」を開催し、約1200名の参加を得た。 ・親子で遊ぶコーナーを設置し、親子で一緒に遊ぶ楽しさを体感した。 ・講演会「体も心もウキウキ・ワクワク」を通して、身体を動かすことを通じて子どもと関わることの意味について理解を深めた。 ・日曜日に開催したことで、父親・母親そろっての参加も多かった。 ・都内各区の保護者が集まり、子育てについて意見を交換し、また子育てに関する情報を共有した。 (2) 平成23年1月20日（木）、練馬区練馬公民館ホールにて「東京都幼稚園PTAリーダー研修会」を開催し、約300名の参加を得た。 ・講演会「現在の子供たちの生活環境と幼児期にふさわしい生活について」を通して、家庭の子育てを地域で支援することの意義について学ぶ機会となった。</p>
(3) 仕事と家庭・地域生活の調和がとれた生活の実現	
② 子育てに対する支援	
<p>年5回開催予定の東京都公立幼稚園PTA連絡協議会理事会において、預かり保育や幼保一元化等の子育て支援に関して情報を共有し、意見を交換する。必要に応じて東京都国公立幼稚園長会等に対して各区の預かり保育の実態に関する情報の提供を求めたり、PTAから行政等への要望などについて情報交換したりする。</p>	<p>年間5回の東京都公立幼稚園PTA連絡協議会理事会を開催し、各区が取り組んでいる公立幼稚園の預かり保育や幼保一元化等について情報を交換した。また、「都幼P情報交換のためのアンケート」を実施し、各園での取り組みを情報共有した。</p>
3. 男女平等参画を推進する社会づくり	
(1) 教育・学習の充実	
<p>各幼稚園において、保護者が親として、大人としてどのように子どもに接するべきか、また両親の役割はどのように考えるべきかなどについて話し合う機会を設けるよう、広く呼びかける。</p>	<p>男女平等参画の芽生えについて考える機会をつくるため、各幼稚園の研修会・保護者会などで話し合った。</p>